

【令和6年度実施】瀬戸市職員採用試験＜新卒・第二新卒採用(消防職)＞ 合格者の声

No.	合格者の声
1	<p>わたしが消防職員になろうと考えたきっかけは人を助ける仕事をしたいと考えたからです。また、わたしは体を動かすことが得意で好きだったのでそれを活かせる仕事がしたいと考えました。そこから、大学入学と同時に消防団に入団し活動していく中でますます「消防」に魅力を感じました。☒</p> <p>受験生の皆さん、面接試験では準備と自信がとても大事です。わたしは自己PRにとっても力を入れました。なので、面接当日は緊張しましたが頑張ってきたことを発表できると思うと、楽しくポジティブに挑むことができました。☒</p> <p>わたしは瀬戸市出身ではないですが、これから瀬戸市についてもっと知りたいです。</p>
2	<p>私は、家族を消防士の方々に助けていただいた経験がきっかけで消防士を目指しました。その中で、学生時代お世話になった瀬戸市に貢献していきたいという思いと、説明会に参加した際に女性消防士の方が救助の最前線で活躍されているのに魅力を感じ瀬戸市を受験しました。試験では自分の良さや瀬戸市への熱い思いを伝える場が多くありました。熱い気持ちを面接でぶつけて頑張ってください。応援しています。</p>
3	<p>自らの命の危険を顧みずに人命救助に全力を尽くす消防官の姿に深く感銘を受け、私もこの道を志しました。瀬戸市を受験した理由は、地元であるこの町を、住民としてだけでなく消防官として守りたいと考えたためです。試験は、筆記試験よりも面接が重視されていると感じました。瀬戸市を守りたいという熱い想いととも、自分の持ち味や強みをしっかり伝えることが大切です。消防官を目指している皆さん、消防の試験は高い倍率で、様々な困難があるかもしれません。しかし、決して挫けず頑張ってください。皆さんの挑戦を心から応援しています。</p>
4	<p>私は小さい頃から消防士という仕事に憧れを持っていていました。瀬戸市は私の地元と近く幼い頃から身近に感じている市でした。また説明会に行った際に職員の方々が優しく気さくで、更にオンオフがはっきりしていると職員の方から直接教えていただき働きやすそうな良いところだなと感じました。試験においても、人物重視の試験が多くSPIよりも3分間自己PRの対策に力を注ぎました。どの市よりも私自身を見てくれているような気がして私は瀬戸市に決めました。受験生の皆様も自分の思いが伝わるように頑張ってください。応援しています！</p>
5	<p>私は生まれも育ちも瀬戸市であり、地域への恩返しをしたいという思いから瀬戸市消防本部を受験しました。試験では、仲間との協力やコミュニケーションが重要だと感じました。合格後は、救急救命士の国家資格取得に向けて日々勉強に励んでおり、瀬戸市のために働く日が待ち遠しいです。受験は難しく、緊張して思い通りにいかないこともありますが、「必ず消防士になる」という強い意志を持って臨めば、良い結果がついてくると思います。受験生の皆さんを応援しています。</p>